

校長室から (NO. 43)

心が元気な子供

本日は、執務納めの日。令和2年は、新型コロナに翻弄され、誰もが不安な一年を過ごしてきたなとつくづく思います。

学校も、たいへんでなかったわけではありませんが、子供たちの明るさやしなやかさに勇気付けられて過ごすことができたように思います。

つい最近、ある3年生の作文に出会い、元気をもらいました。そのことを2学期終業式で紹介しました（以下にその一部を掲載）。今年最後のHPも、このことで締めくりたいと思います。

—— 毎日、はっば隊をがんばった3年生さんの作文です。 ——

「わたしは、朝早く来て、はっば隊をしました。どんなにねむい時でも、はっば隊をしたら元気がでて、私にとって、はっば隊は、欠かせません！3学期もがんばりたいです。」

この作文に出会ったとき、心が元気な子どもの作文だな、素敵な作文だなあと強く心に残りました。どうしてかということ・・・、

朝早くからのボランティアはたいへんなことです。時には、面倒なこともあったかもしれません。しかし、そういったマイナスなことに目を向けず、【はっば隊のおかげで、ねむくっても、しゃきっとできたよ】という、自分にとってプラスだった点は何かを見つけている点が、とっても素敵です。

それから、【私には、はっば隊は大切な存在！！だから続けてがんばろう！】と、何事も明るく受け止めて、これからも、楽しく活動に参加していこうという、「たくましさ」を感じました。

こういう人を「前向きな人」「ポジティブな人」「プラス思考」等といいます。

この先、どんなことが起きるか分かりません。ですが、できないとすぐあきらめたり、だれかのせいにしたりするのではなく、この3年生さんのように、きっといいこともあるよ、どうせやるなら楽しく というように、「前向きな気持ち」で、「プラス思考」で、生活をしていってほしいと願います。



—— 令和3年、私も、そうありたいと思います。 ——